

国語科学習指導案（2年）

平成27年6月16日（火曜日）第5校時（1：45～2：35） 指導者 奈良 知恵

1 単元名 エッセイを書こう

～『枕草子』の表現の仕方に着目して～教材名『枕草子』（光村図書 国語2年）

2 考察

(1) 教材観

①学習内容：学習指導要領上の位置付け

- ・「B書くこと」：イ「自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。」
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」：ア(イ)「古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。」

②伸ばしたい（身に付けさせたい）資質・能力

- ・作者のものの見方や考え方について、自分の体験などと結びつけて考える力
- ・文章の構成や表現の仕方の効果を考え、分かりやすい文章を書く力

③単元を貫く言語活動の設定と言語活動の特徴

- ・言語活動例アの「表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること。」を基に、本単元では、まず、『枕草子』を読み、表現の仕方の工夫について意見交流をさせた後、自分の書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすいものにするという活動を行う。その後、『枕草子』の他の章段を参考に随筆を書くという単元を貫く言語活動を行う。

④教材文の特徴

- ・『枕草子』は平安時代に、清少納言が宮廷生活で見聞きしたことについて、思うままを書き綴った古典三大随筆の一つである。章段の大半が「○○は」や「○○なもの」といった書き出しで、自然や人間について分かりやすく書かれている。とりわけ、『春はあけぼの』の段は、それぞれの季節の様子が生き生きと描かれており、現代の私たちにも共感できる部分が多い。反面、当時ならではの生活の様子やものの見方、感じ方なども読み取ることができる。生徒達は現代と千年前との共通点や相違点に気づく中で、共感したり驚いたりしつつ、自分も随筆を書いてみたいという意欲を持たせることのできる教材であると考えられる。
- ・『春はあけぼの』の章段は4段落構成となっており、体言止め、五感でとらえた色彩豊かな情景描写などさまざまな表現の特徴がある。また、「山ぎは」と「山の端」、「をかし」「あはれなり」など言葉の使い分けがされており、言語感覚を磨くことができる作品でもある。その書きぶりをまねることは、自分の思いをうまく書き表せないという生徒達のもどかしさを解消する手助けとなると考えられる。

(2) 生徒の実態及び指導方針（男子15名、女子18名 計33名）

①既習の学習内容

- ・弁論大会に向けての学習の中で、さまざまな意見文を比較させ、それぞれの表現の仕方の工夫について意見交流を行った。
- ・「メディアと上手に付き合うために」という説明文の構成や表現の工夫を見つけさせ、意見交流を行った。

②実態及び指導方針

- ・教研式CRT（2015年2月実施）では、すべての領域において全国平均を上回っている。小領域別得点率の「古典的な文章を読むこと」を見ると、読解に個人差が見られた。今後はさまざまな古文に触れる機会を増やし、古典に慣れさせていきたい。また、古文と現代語訳を対応させたワークシートを活用し、内容理解の手助けとさせる。
- ・古典の学習については、1年生の時に、『竹取物語』を学習し、古文特有のリズムや古語について学習してきている。おとぎ話の原文なども紹介したため、古文に親しみをを持った生徒は多い。冒頭文も9割の生徒が暗誦することができた。
- ・「文章の表現の仕方」については、説明文や意見文の比較を通して、その工夫に気づく学習をしているが、根拠となる部分を具体的に挙げながら、はっきりと自分の考えを述べることのできる生徒はまだ少ない。交流活動を取り入れたり、観点を提示したりすることで、どういうところに着目すれば分かりやすい文章になるのか考えられるようにする。
- ・語彙が少なく、自分の思いを「何となく」といった言葉でしか表せない生徒が多い。今回は『枕草子』の描写を参考にしながら、思いについては、感情を表す「表現事例集」（国語科共通）を持たせ、自分の文章に生かせるようにさせる。

・少人数の話し合いにおいては、比較的スムーズに交流ができるが、出た意見について深めたり、意見を分類させたりするまでには至っていない。そこで、役割分担を明らかにし、話し合った内容を短冊に書かせる。そして、短冊を黒板上に分類しながら貼ることで、推敲のポイントをより明確にさせる。

・個に応じた手立てとして、文章をよりよくすることが難しい生徒にはヒントカードを二種類用意し、随時、参考にさせる。早くできてしまった生徒には「表現事例集」を基に、気持ちを表す表現も推敲させる。

3 校内研究との関わり

本校は、研究主題を「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ生徒の育成—各教科における『考え、表現させる』ための交流活動を通して—」として研修を進めている。本単元では交流活動を通して自分の考えを深め、学んだことを活用して自分の表現に生かせる生徒の育成に努めたい。

4 単元の目標

『枕草子』の表現の工夫に着目させ、自分の体験や思いを随筆という形で書かせる。

5 指導計画（全5時間予定）

時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動	関	書	言
		活用させたい知識等	思考力・表現力等				
第1時 (本時) 第3時 第4時 第5時	課題把握	・根拠を表す言葉	・自分の考えを根拠を基にまとめる力	・「私の好きな季節」について、根拠を入れて文章を書く。 ・『枕草子』を参考に随筆を書く学習をしていくことを知る。	○	○	
	課題追究	・古語の意味の理解 ・平安時代の生活についての知識	・現代語訳を基に文章の内容を大まかにつかむ力 ・現代と過去の共通点や相違点に着目し、自分の体験や思いと結びつけて考える力	・『春はあけぼの』を朗読し、作者のものの見方や感じ方をとらえる。 ・現代と過去との共通点や相違点について自分の考えを持つ。	○	○	○
		・文章構成や表現の仕方についての知識 (段落・描写の仕方・さまざまな表現技法など)	・文章の構成や表現上の特徴をとらえる力 ・自分の考えと他の考えを比較して考える力 ・文章を参考にして推敲する力	・『春はあけぼの』の構成や表現の仕方の工夫を交流活動を通してとらえる。 ・自分が書いた文章を『春はあけぼの』の構成や表現の特徴を取り入れてよりよくする。(本時)	○	○	○
			・条件に合った文章を書く力 ・他の文章の良さを見つける力	・自分が書いた文を随筆という形に仕上げる。 ・互いの作文を読み、コメントをし合う。	○	○	
	まとめ	・他の学習場面に当てはめること	・条件に合った文章を書く力	・他の章段を参考に「○○は」「○○なもの」というテーマで随筆を書く。	○	○	○

		・本単元で学習したことを一般化すること	・単元全体を振り返り学んだことをまとめる。		
--	--	---------------------	-----------------------	--	--

6 本時の学習 (3 / 5)

- (1) **ねらい** 話し合い活動を通してとらえた『春はあけぼの』の表現の特徴を自分の書いた文章に取り入れ、より読みやすくわかりやすいものにさせる。
- (2) **準備** 教師：教科書、短冊、マジック、表現の特徴の観点を表した短冊、本文を拡大した紙
生徒：教科書、「私の好きな季節」について書いたワークシート
- (3) **展開**

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
0 全員で朗読する。 <本時の課題を把握する> 1 『枕草子』の表現の特徴をとらえ、自分の書いた作文をよりよいものにすることを知る。	5分	・学習予定表で既習事項を振り返り、本時のめあてを確認する。
【学習課題】『春はあけぼの』の表現の特徴を使って、自分の書いた文章をよりよいものにしよう。		
<課題を追究する> 2 『春はあけぼの』を読み、表現の特徴について考えたことを交流する。 ○自分の考えと、そう考えた根拠をワークシートに書き込む。 ○班で意見交流を行う。 ○班で出た意見をクラス全体で共有する。	15分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">発問1…この文章の表現の工夫を見つけよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「論の展開」「言葉の特徴」など観点を書いた短冊を提示し、既習事項を考えるヒントとさせる。 ・どの部分からそう考えたのか、現代語訳を参考に古文中の言葉に、サイドラインを引かせ、根拠を基に自分の考えをまとめさせる。 ・他の季節と比較し、共通点や相違点を見つけながら読むとわかりやすいことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>予想される生徒の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落の最初が「春は○○」という形。 ・体言止めが使われている。 ・色を表す言葉が使われている。 ・数を表す言葉が使われている。 ・音が入っている。 など </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">発問2…各自が考えたことについて意見交流をして、表現の工夫をたくさん見つけよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交流は司会進行・書記・発表者を決め、スムーズに話し合いが行えるようにする。出た意見は書記が短冊にまとめて書かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">発問3…各班で出た意見を共有しよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・各班の短冊は黒板上で分類させ、推敲のポイントとさせる。

<p>3 『春はあけぼの』の表現の工夫を取り入れ、自分が書いた「私の好きな季節」をよりよくする。</p> <p>おもしろそうだな。でも難しいかな。古語で書くのではないよね？</p> <p>うまく直せないな。そうだ。ヒントカードをもらいに行こう。</p> <p>うまく直せたな。早くできたから他の部分も直してみたいな。</p>	<p>20分</p>	<p>発問4…『春はあけぼの』の表現の工夫を取り入れて、自分が書いた文を書き直そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 古語で書くのではないこと、最初は一緒にやっ ていくことを説明する。 <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 一文目を「春は〇〇」という体言止めにさせる。 〇〇の部分に時間を表す言葉を入れさせる。 <p><各自の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 次の3つのうち、一つを取り入れて直す。 <ul style="list-style-type: none"> ①色を表す言葉を入れる。 ②数を表す言葉を入れる。 ③視覚だけでなく、聴覚・触覚・嗅覚などでと らえたものを取り入れさせる。 うまく直せない生徒にはヒントカードを参考にさ せる。早くできた生徒には「表現事例集」を使っ て気持ちを表す言葉についても推敲するよう伝え る。 <p>【書】「春はあけぼの」の表現の特徴を取り入 れて自分の書いた文章をよりよくしている。</p>
<p>4 本時の学習を振り返り、次時につな げる。</p> <p>○本時の学習を通して学んだことを学習 カードに書く。</p> <p><生徒の意識></p> <p>「春はあけぼの」をまねして書いた ら自分でもいいと思う文が書けた。 もっと工夫をしてみよう。随筆って 案外難しくないかも。他の章段もま ねして書いてみたいな。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 次時は、さらに工夫を取り入れ、仕上がった文 章を互いに読み合う活動をするを伝える。

7 板書計画

エッセイを書こう
『枕草子』の表現の仕方を参考にしよ

「春はあけぼの」の表現の特徴を取り入れて
自分の書いた文章をよりよいものにしよう！

一・「春はあけぼの」の表現の工夫を見つけよう。

(1) 自分で (2) 班で (3) クラスで

〔表現の特徴〕

例 「春は〇〇」という形

体言止め

色を表す言葉

数を表す言葉

音を表す言葉

ほか

二・「私の好きな季節」をよりよくしよう。

(1) 「春は〇〇」という形に。

〇〇には時間を表す言葉を入れる。

(2) ①色を表す言葉

②数を表す言葉

③音、触った感じ、匂いなど

どれか
一つ